

# 市民が創る 福祉プロジェクト 活動報告書2016



平成29年3月

地域福祉アクションプログラム推進協議会



# 地域福祉アクションプログラム推進協議会

今年度は、あしや保健福祉フェアにおいて「地域福祉アクションアワードvol.2」を開催するとともに、例年実施してきた「市民が創る福祉プロジェクト展」を発展させ、多くの市職員と協働して、「きて・みて・やってみてinあしやvol.2」を開催することができました。



また、それぞれのプロジェクトにおいても昨年度を超える様々な団体等とのつながりにより、多くの市民が参加できるイベント等にも参画できました。

第3次芦屋市地域福祉計画の策定により、これまで活動してきた地域福祉アクションプログラム推進協議会は新たなメンバーによる活動が始まります。5年間に渡り、第2次芦屋市地域福祉計画の推進に関わってくださった皆様にこの場をお借りして、お礼申し上げます。

住民が支え合う仕組みづくりのために、担い手同士がつながり、また行政と協働していくことが必要不可欠であると考えています。地方創生の総合戦略の一つに位置づけられた地域福祉がより発展していくことを心から願っています。

地域福祉アクションプログラム推進協議会 会長 上野 義治

## 平成28年度の活動

月に1回各プロジェクトの活動内容の共有 ★印については、記事をご覧ください

平成28年 5月 7日	頭とカラダにいいフェスタ(芦屋中央公園)への参加
7月25日	★第7回あしや保健福祉フェア 地域福祉アクションアワードvol.2 ～わたしの活動がいちばん!～
10月15日	頭にいいウォーク(阪急西宮ガーデンズ)への参加
10月22日	茶屋あきまつりへの参加(茶屋公園)への参加
11月20日	きて・みて・やってみてinあしや～みんなの居場所にちょっと寄り道～ (グルメシティ芦屋浜店)への参加
平成29年 3月12日	★きて・みて・やってみてinあしやvol.2～みんなの居場所にちょっと寄り道～ (コープデイズ芦屋店)への参加

## これまでの歩み





# ひとり一役運動

「ひとり一役運動」では、多様な地域福祉活動の推進を目指し、地域の中のちょっとした困りごとがある人と“これくらいだったらできる”という人のマッチングを行う活動に取り組んできました。活動が続ける中で毎年依頼して下さる団体や新たに依頼して下さる団体もあり、少しずつ広がってきているのではないかと感じています。

今年度の新たな取組としては、第3次芦屋市地域福祉計画の検討部会のメンバーと「ひとり一役の日」と題し、高齢者や子どもたちまで様々な世代がふれあえる場づくりに一役買えたらと企画、実施しました。

今後も、一人ひとりが「できること」で参加し、地域の方のちょっとした困りごととその解決のためにお手伝いできる人をつなぐことで地域福祉の推進を目指したいと思います。

平成28年  
8月19日

## みどり地域生活支援センター 盆踊り



落ち着いた雰囲気でお話に引きこまれていました。

当日は出店の手伝いを行いました。

第1回ひとり一役の日

## 朗読会

参加者25名

平成28年  
10月19日



朗読者

酒井 喜美子さん

平成29年  
2月22日

## 第2回ひとり一役の日 絵本を読もう!

参加者48名



多くの親子に参加していただき、とてもにぎやかでした。

幅広い方に参加していただき、チャンバラを楽しみました。

## 健チャラin芦屋

平成29年  
2月25日



「プロの役者が贈る、迫力ある殺陣芝居」と「刀を使った健康体操」を組み合わせた観客参加型イベントです。

NPO法人 K-H.E.A.T.

tel : 080-5410-0382(代表:小坂和雄氏)

## 市内の小・中学校や警察学校での福祉学習

視覚に障がいのある人や高齢者の日々の生活としてアイマスクを着用して歩行する体験や車いす体験などのお手伝いをしました。





# 市民が創る情報紙

「市民が創る情報紙」では、「市民が、市民のために、市民が楽しめる情報紙をつくろう」をキャッチフレーズに市民と行政がともに「市民が知りたい情報」や「わかりやすい表現」とは何かを考えながら活動を行ってきました。

5年間に発行した全7号の中には、「自治会活動」や「地域デビュー」を始めとする様々な地域活動を多く取り上げ、延べ11万部の情報紙の発行を行いました。

市内の施設等に置いていただいておりますので、見かけた際は、手に取っていただくと幸いです。

## 第6号



テーマ  
「地域デビュー第2弾」

### 作成の経緯

第4号での「男性の地域デビュー」が好評を博したことから、第6号にて、様々な方にインタビューを行い、皆様の地域デビューのきっかけになれるような記事を作成しました。



第4号

### 紹介内容



自分たちがインタビューすることによって、市内の様々な活動を知ることができ、活動している人とお話をできたことは、自分にとって、とても良い経験でした。

## 第7号

### 作成の経緯

多くの方の関心を寄せていただける「運動」をテーマに様々な活動場所等をご紹介します。皆様が楽しく毎日を送るために必要な運動について、スポーツを始め、気軽に生活に取り入れられる運動も記事にしました。

改めて『運動』について調べると市内でも多くの活動があることを知りました。皆様の生活を豊かにできるきっかけとなれば幸いです。



テーマ  
「運動」

地域福祉課(芦屋市役所南館1階)にて配布しておりますので、ご希望の方は問い合わせ先までご連絡ください!  
ホームページにも掲載しています!  
<http://www.city.ashiya.lg.jp/fukushi/chiikifukushi/actionprogram.html>

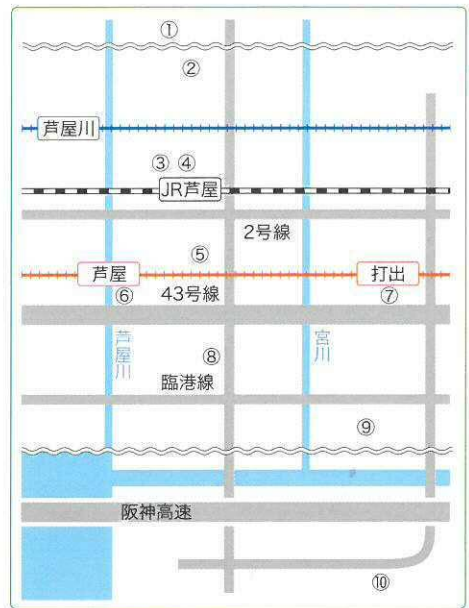


## わがまちベンチプロジェクト

「わがまちベンチプロジェクト」では、まちのあちこちに一休みできるようなベンチを設置し、そのベンチに座り、地域のどなたかと出会い、ふれあい、にぎわって人と人、人とまちとがつながりながら、芦屋市がやさしくあたたかいまちになることを目指して活動してきました。その結果、5年間で、市内11か所に15台のベンチを設置することができました。

「わがまちベンチプロジェクト」は、これからも、人と人をつなぎ、あたたかいまちづくりのお手伝いをします。

「わがまちにもベンチを!」という皆様、ぜひ私たちに声をかけてください。



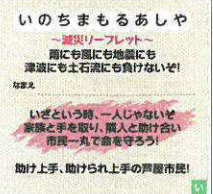
- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ①奥池集会所1台         | ②芦屋霊園2台         |
| ③ベデストリアンデッキ1台    | ④「憩いの広場」JR芦屋駅2台 |
| ⑤茶屋之町さくら通り沿い歩道1台 | ⑥芦屋市役所2台        |
| ⑦「まごのて」打出商店街1台   | ⑧保健福祉センター2台     |
| ⑨浜風町バス停1台        | ⑩海洋町海岸通り沿い2台    |

1町に1台を目指して  
あたたかいまちづくりを  
お手伝いします。



## キラッとプロジェクト

「キラッとプロジェクト」は障がいのある人の日々の暮らしについて伺い、高齢者も子どもも障がいのある人もない人も、生きていく上で必要な情報はなんだろうと考えたことがきっかけで発足しました。平成26年度には「いのちまもるあしや～減災リーフレット～」を発行し、その後、増刷を重ね、平成29年3月時点で3万部以上発行し、皆様のお手元に届けることができました。



平成28年度は“もしものとき”皆様を助けるアイテムの一つになることを目的に空の青と虹が印象的な「いのちまもる わたしノート」を作成しました。

今回、「もしものとき」という言葉について、どのような意味を持たせるのか、どのように表現したら良いか、何度も話し合いました。「いのちまもる わたしノート」を持つことで、自分が助かるかもしれないし、誰かのお役に立てるかもしれないと、そんな場面を想像して私たちは作成に取り組みました。



このノートの特徴は5～6ページにある「伝えたいこと」です。前半部分はすらすら書けた方もこのページで家族や友人に伝えておきたい想いを書き始めるためにペンが止まるかもしれません。このページは、書いても書かなくても日々の暮らしの中で、周りに伝えたいことを心に留めるきっかけになるとと思います。自分のことやまわりに伝えたい想いを考えることは、このノートの目的以上に意味のあることになると考えています。



## 第7回 あしや保健福祉フェア

### 地域福祉アクションアワードvol.2 ～わたしの活動がいちばん!～

平成28年7月23日に「第7回あしや保健福祉フェア」が開催されました。

当日は、90名の方に参加していただき、第2次芦屋市地域福祉計画を推進する目標の一つである「人と人とのつながりを広げます」を取り上げ、身近な地域での活動や社会参加などつながりを広げ、お互いに気にかけてあって困りごとの発見や支え合える関係づくりを進めるため、地域で積極的に活動されている団体等に実践報告していただき、表彰を行いました。

また、地域の方にご紹介いただき、せみ まる てい じよ にあ半丸亭寿近さんに落語を披露していただきました。

これからのささえあいの  
お手本となるで賞



若葉町7番自治会  
足立 裕一さん

「まごのて」での出会いが  
みんなを元気にするで賞



打出いこいの場 まごのて  
井垣 真由美さん、西村 京さん  
西村 敬子さん

若い力がこれからの  
地域を支えるで賞



芦屋大学  
畠田 稔さん、榎本 美穂さん  
(熊本県益城町に災害ボランティアとして参加)

## 第6回 市民が創る福祉プロジェクト展

### きて・みて・やってみてinあしやvol.2 ～みんなの居場所にちよつと寄り道～

わたしの「地域のお気に入りの居場所」、「ふらっと立ち寄れる楽しい居場所」があればいいなあをつめこんだ、全世代が楽しめるゆっくりできるイベントとして、平成29年3月12日にコープデイズ芦屋店において市職員と市民の協働による「きて・みて・やってみてinあしやvol.2」を開催しました。

地域に暮らす一人ひとりがつながりあい、誰でも気軽に立ち寄ることができる「居場所」がまちの中にたくさんできることを目指し、工作コーナーやフォトスペース等を設け、当日は、様々な世代の708名の方に楽しんでいただきました。

この催しを通して、人と人がつながりあえる地域になることを願い、地域福祉の推進に取り組みます。



#### ●お問い合わせ

芦屋市 福祉部 地域福祉課

〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7-6

TEL 0797-38-2040 FAX 0797-38-2060

ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/>